

空調・衛生・消火・換気・保温塗装他基本データ入力済み
 工事内容に合わせて必要箇所を変更してご使用下さい
 文字、図解は、エクセル上で、訂正出来ます。
 A4サイズで約100枚程度のデータ入力済みです。

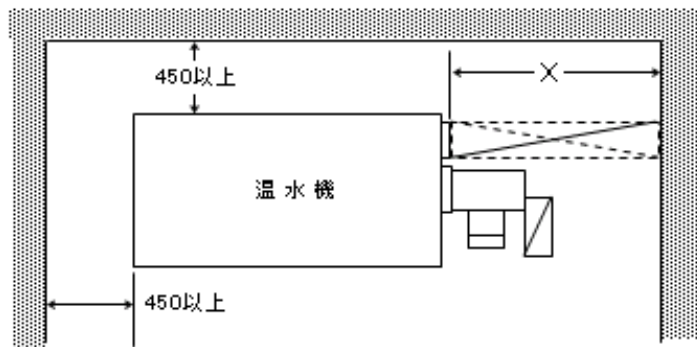
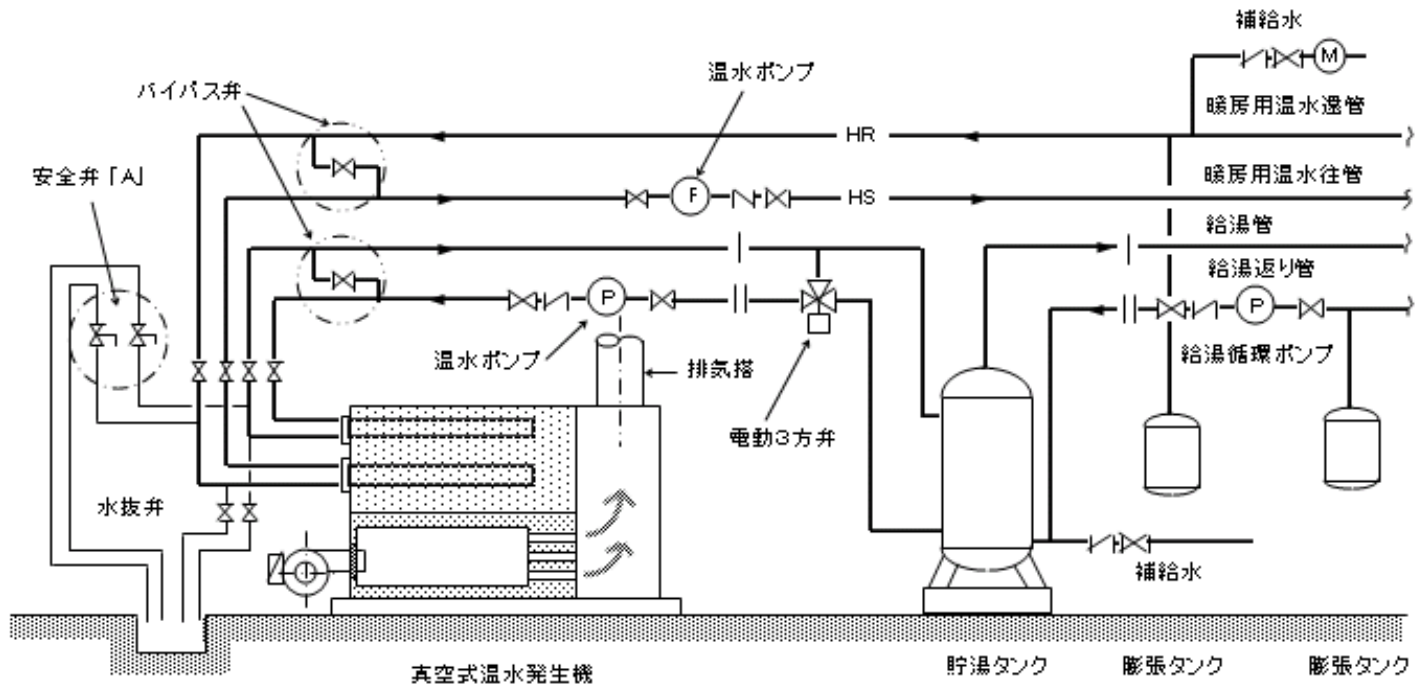
施工要領書

配管

真空式温水発生機の据付

No

■ 真空式温水発生機の据付・配管(配管系統図は、本施工要領を説明する為の参考とする。)



設置上の周囲スペース

X: コイル引抜きスペース

施工上の留意点

- 1) 温水発生機は、基礎上に水平に設置する。
- 2) 温水発生機の外面より壁面等までの距離は、原則として 450mm 以上とする。
- 3) コイルの引抜きスペースを考慮する。
- 4) 温水発生機本体のコイル側に安全弁が附属している場合は、安全弁「A」は不要とする。
- 5) 一般的に暖房用の循環水量は、温水機コイルの許容水量より多いのでバイパス弁を設け、過水速によるコイル腐食を防止する。
- 6) 温水発生機接続配管は、耐熱性を考慮する。(機器から 2~3m の範囲)